

にこにこ情報

竹とんぼ



発行 社会福祉法人緑樹会

〒904-0021 沖縄市胡屋7-2-10

電話 098-930-2525(にこにこ)

FAX 098-933-1324

ホームページ <https://www.ryokujukai.or.jp/>

メール info@ryokujukai.or.jp



飛行日誌



時が経つのは早いもので、やがて父の三回忌がやつてくる。父は九十五歳で亡くなつたけれど、生きることを諦めたことは一度もなかつた。ある意味では上手く死を受け入れることのできない人だつた。

そして、日が経つにつれてぼくの「かなしみ」は大きくなつていく。もつと父の傍にいて、父の意に沿うような介護をやれなかつたことへの後悔は、「かなしみ」を紡ぐように膨らんでいく。

父と過ごした歳月は幾重にも折り重なつてぼくの心を吹き荒れる。若かりし頃ぼくを軽々と抱き上げた父、背中にぼくを乗せて泳いだ父、数学の問題を難なく解いて見せた父。そして、老いて病院通いに付き添つて行つた日々、施設に夫婦で入居することになった日、父は施設見学の帰りの車の中で、「お母さんには若い頃からさんざん苦労をかけた、これからは自分が死ぬまでお母さんを守る」とぼくに宣言した父。

それら一切は、喪失感とともに「かなしみ」となつていく。「かなしみ」を漢字で書くと「悲しい、哀しい、愛しい、美しい、愁しい」の五つの字で表現できるという。その一つひとつを掬い上げると、どれも心を震わせ、やがてかなしみは一緒くたになつて闇をさまよう。

父の遺品の中に『微分・積分』の入門書があつた。数学の教師だった父は九十過ぎてもその本を読んでいた。ページを捲るとあちこちに手書きのメモがあつて、数式が書かれている。数式の美しさについて、遠い昔に父と語つたことがある。たぶんそのことはこれからもぼくの心から離れることはないだろう。

十年目の三・一一（東日本大震災）、テレビの特番を観ながら、今なお多くの人々が悲しみや落胆や絶望の中に入ることを思う。肉親を失つたかなしみは歳月が経つても癒されることがないのだ。「人生には悲しみを通してしか開かない扉がある」という言葉がある。人は「かなしみ」を胸に扉の向こうに新たな希望があることを信じて生きるしかないのだろうか。

竹とんぼ

ケアハウスていんさぐぬ花「ひなまつりお茶会」



3月5日(金)、ケアハウスていんさぐぬ花では、ひな祭りお茶会が行われた。今回の行事も感染症防止対策のため、各フロアでの開催となり、午前、午後と分かれての開催となつた。

午前の3階フロアでは、はじめにラジオ体操とリハビリ体操を行い、その後、皆さん一緒にひな祭りの歌を合唱した。桃の形をしたかわいいお菓子を食べ、仲松節子介護員によるお茶の作法の説明を聞きながら、茶碗を手に取り、お茶を楽しんでいた。

2階フロアでは、利用者の皆さんからのリクエストもあり、最後に全員で民踊りを楽しんだ。(伊佐真治)



竹とんぼ

春の陽気に誘われて 花いっぱいのケアハウスはいびすかす

3月になり日中のポカポカ陽気が気持ち良い季節になりました。はいびすかすの園庭に咲く花々を見ながら日向ぼっこをするのが最近の日課となりました。新型コロナの影響はまだまだ続きますが、はいびすかすの利用者は皆さん元気に過ごしています！



竹とんぼ

みどり学童クラブ

うーまくー通信

だいこん収穫！&おやつ作り



みどり学童クラブでは、敷地内の畑に植えた大根の収穫をしました。大根を抜くのはみんな初めてで、やる気満々！倒れないように気を付けながら引っ張りますが、なかなか大根は抜けません。子ども達は学校で読んだ有名なあのお話しを思い出したのか、大きな声で「うんとこしょ！、どっこいしょ！」と掛け声を出していました。ようやく抜けた大根は見事な大きさ！コツをつかんだ子ども達は、次々に大根を抜いていきました。その後、収穫した大根で手作りおやつに挑戦！メニューは『大根もち』。ホットプレートで協力しながらつくりました。みんな美味しそうに食べていました。

竹とんぼ

緑樹苑デイサービスセンター 節分で「豆まき」

2月2日(火)、緑樹苑デイサービスセンターでは、節分の由来などの説明後、利用者の皆さんは本物の豆を鬼の面に向かって投げ、「鬼は外」と掛け声をあげながら、思い切り投げる方など、様々優しく投げる方など、様々な豆まきを行った。

次に行われたのは、鬼退治ゲーム。利用者の皆さんに襲い掛かるうと近寄ってくる鬼に、豆に見立てた新聞紙ボールを投げ、鬼を退治する。「強く当たらかわいうさー」とおっしゃる方がほとんどで優しく、豆を鬼が当っていた。また、「鬼さん疲れなくてないね？」など気遣いをしてくれる利用者もいた。鬼は最後にはへとへとになって退散。見事鬼たいじに成功し、幕を閉じた。

(知念綾乃)



緑樹苑デイサービスセンター 2月誕生会

2月19日(金)に、緑樹苑デイサービスセンターでは、2月生まれの誕生者を祝う会が開かれた。誕生者の皆さんは、金屏風の特別席に座り、職員による余興を楽しんでいた。

蝶ネクタイで正装した職員が懐かしの歌謡曲やデュエット曲を披露すると、会場は大盛り上がり。誕生者の皆さんは笑顔を見せて喜んでいた。(比屋根英朗)



竹とんぼ

「健康クラブパンダ」へ、職員互助会から折りイス寄贈

～緑樹会職員互助会の地域貢献活動～

3月19日(金)、緑樹会職員互助会から、健康クラブパンダ(高江洲末子会長)へ、折りたたみパイプイス12脚が寄贈された。健康クラブパンダの高江洲末子会長は「地域の皆さんへの健康増進に役立つください」とあいさつした。健康クラブパンダの砂川智規会長は「地域の方にご協力をいただき、感謝してもしきれない。ありがとうございます」と感謝のことばを述べた。



健康クラブパンダは、高江洲会長が、自身が経営していたブティックを拠点に、地域住民の皆さんと健康新体操などの活動を行っていたが、店を閉店したことから活動拠点に困っていたとのこと。その後、地域包括支援センター西部北の生活支援コーディネーターに相談したところ、サン介護マッサージ(源河陽一郎所長)に活動場所の提供と体操の指導をしてもらうこととなり、体操で使用するイスを緑樹苑から借用して活動を行って

健康クラブパンダでは、毎週金曜日にサン介護マッサージで体操を行っている。



互助会から職員表彰、健康増進に取り組む



3月9日(火)、緑樹会職員互助会では、みどり学童クラブ職員の野崎太郎支援員を、健康増進に資する活動に取り組み、模範となる結果を残したとして表彰した。

野崎支援員は、12月に開催された沖縄県ベンチプレス競技に参加し、男子74キロ級で見事に一位を獲得優勝した。

互助会の砂川智規会長は「これからも職員の模範となる健康増進に努めてほしい」と報奨金を贈った。

野崎支援員は「今後も記録に挑戦して身体をつくり、健康増進に努めます」と話した。

竹とんぼ

毎月の勉強会で知識と技術の向上 緑樹苑居宅サービス事業所

緑樹苑居宅サービス事業所(訪問介護)では、毎日の訪問介護の中でも難しかったケースや対応に苦慮した事例などを職員間で共有し、改善に向けた定例会(勉強会)を毎月行っている。

定例会では、研修動画を見た後に、実際に職員同士シミュレーションを行ったり、専門の講師を招いての講話など、様々な研修・勉強会を行い介護技術の向上や知識の習得に取り組んでいる。(渡久地二)



新評議員、委嘱状交付式



宮島真一評議員

3月5日(金)、新たに評議員に就任した宮島真一氏への委嘱状交付式が行われた。宮島氏は、沖縄市中央で地域に根差した映画館「シアタードーナツ」を運営しており、上映される作品は、福祉・介護を題材とした施設の介護研修の場や、施設利用者への映画鑑賞、地域コミュニティーの場としても利用されている。その傍ら沖縄市の観光大使としても活躍。地域の相談や困りごとを気軽に相談できる存在として地域からの信頼は厚い。

緑樹会では、評議員7名のうち、1名が欠員となっていたことから、1月14日に評議員選任委員会が開催され、委員会において正式に選任された。その後、新型コロナウイルスの影響(緊急事態宣言等)により、委嘱状交付式が行えずおらず、3月の交付式開催となつた。

4月行事・活動予定

	介護老人福祉施設緑樹苑 令和3年度入社式・辞令交付式	ケアハウスはいびすかす 手作りおやつ会	ケアハウスていんさぐぬ花 ていんさぐぬ花七周年	緑樹苑ティーサービスセンター	みどり学童クラブ
1(木)					
2(金)			スカッシュボール		
3(土)			手工芸	映写会	園外活動
4(日)					
5(月)			民舞		
6(火)			歌会		
7(水)	ミニシアター	ミニシアター	映写会	映写会	
8(木)		手作りおやつ会	ボウリング	防災訓練	
9(金)			スカッシュボール	手作りおやつ会	
10(土)			手工芸		園外活動
11(日)					
12(月)	健康診断	書道クラブ	民舞		
13(火)		三板クラブ	歌会	誕生会	
14(水)	ミニシアター	防災訓練	映写会		
15(木)		手作りおやつ会	誕生会	カフェタイム	
16(金)			スカッシュボール	映写会	
17(土)			手工芸		園外活動
18(日)					
19(月)			民舞		
20(火)			防災訓練・歌会	映写会	
21(水)	ミニシアター	ミニシアター	映写会		
22(木)			散髪・脳トレ		
23(金)	誕生会	誕生会	スカッシュボール	防災訓練	
24(土)			手工芸		園外活動
25(日)					
26(月)		書道クラブ	民舞		
27(火)		三板クラブ	スカイガーデン	映写会	
28(水)	ミニシアター	防災訓練	映写会		
29(木)					学童休園日
30(金)			スカッシュボール		

感謝録

(令和三年一月一日～一月二十八日)

名城政男様(ご家族)

名城政男様(ご家族)

編集後記

令和三年度を迎えました。

4月は正月とは違った『新年度』の始まりで、仕事に対して改まつた気持ちになります。今年も新卒者を含む複数名が入社し、志を同じくする新たな仲間が加わりました。

また、今年は三年ごとに行われる介護報酬改定の年でもあり、感染症や災害時等における対応力の強化、自立支援や重度化防止に向けた科学的データに基づく介護サービスの提供など、介護報酬に反映される内容は、より組織的な対応が求められてきます。依然の体制では通用しないことを我々職員も自覚する必要があります。時代に応じて制度が変化していく中、旧態なつて新たな取組にチャレンジしていくとともに、初心を忘れず、サービスの向上に努めたいと思います。

緑樹会のホームページから
竹とんぼをご覧いただけます。



または
インターネット検索で
緑樹会 竹とんぼ

Q検索
(砂川智規)

温かい御支援、御協力下さいます
た方々に、厚く御礼申し上げます。